

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

立春を過ぎてかすかに小雪降る駅にはかなく末子見送る
 風邪などは引かぬと自負せし吾にして老いゆゑ今日で三日寝たり
 五日間帰省せし娘と過ごし帰れば言ひ難き淋しさの顔つ

米尾和子
 坂之下典子
 中山タマエ

一般作品

大家族イロリ囲んだあの頃はイモとザコ茶それでも元氣
 田起しの前に集いし黒き群れ山ごと動きせわしき声す
 庭石に囲まれ芽吹く福寿草あらたな年に力をもらい
 如月の雪の中咲く白薔薇はどの季節より愛でられるべき
 自然に分かつて来るの本当だ世の為何だ人の為何だ
 侃々諤々座は荒れて古希野球の若き血潮に戻りたる
 かたち良く海に突き出たうさぎ鼻嵐の波を高く蹴上げる
 今は冬湯治の客も増えにけり

小林 貢
 小林如月
 中仮屋辰子
 後藤ヨシエ
 町田末則
 母木良平
 川島輝文
 宗方正喜

長島の

歌人集まる

広場あり

明神俳句会

二ヶ月や白刃ひらめく如くあり 淵脇 護 二ヶ月や雲間に出づるオリオン座 関 佳代美
 冴返る猫桃色の耳立てて 迫口 君代 如月やマルチの畑に父ひとり 大堂 早苗
 継ぎ手より漏るる水音冴返る 二階堂妙子 一粒のいのちなりしや藪椿 山寄加代子
 正午告ぐ郷のチャイムや冴返る 関 喜久雄 過疎の村一灯ともり冴返る 二階堂恵子
 まに母の小言聞きにし蜆汁 白男川孝仁 潮鳴りの古墳公園春の色 坂口 静子
 露の薑母の形見のテープ籠 大堂 正弘

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介



親の家が空き家になりました
 著/葉山由季
 決して他人事ではない「空き家問題」家をめぐる家族の物語です



葛屋重三郎
 ちさかあや/著
 小学生から大人まで楽しめる葛屋重三郎の一生を描いたまんがです。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121